

HOUSING
DESIGN
CONTEST

COLLABORATION PLAN

第5回 2023 住宅設計デザインコンテスト

COLLABORATION PLAN 2023

国立大学法人



〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL: 023-628-4006
<https://www.yamagata-u.ac.jp>



〒990-2481 山形市あかねヶ丘1-11-24
TEL: 023-643-7558
<https://kikuchigiken.co.jp>



〒999-2232 南陽市三間通38-1
☎0120-400-133
<https://www.showa-inc.jp>





山形の気候・風土、生活に適した住宅のあり方を考え、本当に快適な住まいを究める

地域の課題解決、地域振興に貢献する人材を育成

「住宅設計デザインコンテスト」は、山形大学工学部建築・デザイン学科が、山形の建設会社、株式会社菊池技建（本社/山形市）、章和ホーム株式会社（本社/南陽市）と連携して実施する企画で、今回で5回目を迎える。同学科は建築・デザインに関わる教育・研究を通して、世界を見ずえた幅広い視野を持ちつつ、地域固有の文化を理解し、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材の育成を目指しており、コンテストはその一環として行われる。また、地元工務店では、少子高齢化や若者の県外流出により深刻な人手不足に陥っている。今回のコンテストをきっかけに、学生に住宅設計の魅力を感じてもらい、地元の工務店の業務内容を知ってもらうことで、学生の地元定着を期待している。

建築のプロのもとで山形に適した住まいを設計

コンテストでは、学生たちに一定の制約下で山形の気候に適した住みやすい戸建住宅の設計に挑戦してもらった。現場をよく知る地元工務店の指導を受けながら、予算や建築条件などと建物の魅力をどのようにして両立させるか、建築業界の最前線で働くプロのもとで実践力を身につけることも狙いの一つである。このため、作品が顧客の承認を得られた場合は、建築着工し、学生が自らの設計や現場に関わり、実際の現場を経験することができる。それだけに提案者には、地域に住む人が地域の自然環境のもとで、いつまでも快適に住み続けるための独創的なアイデアが求められた。また、地域に新たな価値を生み出す建築物であることも望まれた。



株式会社 菊池技建
専務取締役 菊池 信二



章和ホーム 株式会社
代表取締役 川井 秀智

山形の気候に
適した設計を
学ぶ。

地元工務店と
連携し、

住宅設計コンテスト — 設計条件 —

テーマ 「地方都市に住む」

建築のビルディングタイプの中でも最も基本的で重要な用途である住宅を設計する。現代においてはかつての画一的な価値観は薄れ、多様な価値観による新しいライフスタイルが生まれている。また、これまで想像していなかった自然災害や新しい感染症が蔓延するなど、住まいを取りまく状況は常に変化しており、住宅内で在宅ワークを行うことが常態化するなど、これまでの居住のあり方が問い直されている現在、住宅は古くて新しいテーマを抱えている。家族のライフスタイルや周辺環境を見つめ直し、既成・固定のイメージにとらわれない住宅をご提案。

- 敷地／米沢市 敷地面積380㎡ 用途地域：第一種住居地域 建蔽率：60% 基準容積率：200% 準防火地域
- 延床面積／[a]延床200㎡(60坪)程度 [b]延床300㎡(90坪)程度
- 構造／木造、RC造、鉄骨造など自由
- 居住者構成／[a]一世帯住居(ご夫婦+子ども) [b]二世帯住居(親世帯+ご夫婦+子ども) ※a/bどちらか選択
- 必要諸室／キッチン、洗面、トイレ、浴室など最低限住宅に求められる機能を満たすこと。
それ以外に必要な諸室や空間を計画すること。
- 駐車場／居住者像の設定に応じて計画すること



地域生活に新しい価値観を創出する空間設計を

【テーマ】地域の環境や文化を生かした住宅とは

テーマは「地方都市に住む」。建築のビルディングタイプの中でも最も基本的で重要な用途である住宅を、地方都市の住まいの在り方を念頭において設計する。現代においてはかつての画一的な価値観は薄れ、多様な価値観による新しいライフスタイルが生まれている。また、これまでの想像していなかった自然災害や新しい感染症が蔓延するなど、住まいを取り巻く状況は常に変化しており、住宅内で在宅ワークを行うことが常態化するなど、これまでの居住の在り方が問い直されている現在、住宅は古くて新しいテーマを抱えている。これらの時代背景のもと、家族のライフスタイルや周辺環境を見つめ直し、地域の環境や文化、機能などを生かした住空間について、既成・固定のイメージにとらわれないプランの提案を求めた。審査のポイントは、ある程度の法的制限や基準をクリアしていれば、過度に現実的でなくてもよく、コンセプトから導き出されたデザイン性・機能性・プレゼンテーション力に重点がおかれた。提出された作品は2回のプレゼンテーションにおいて担当教授と工務店担当者の指導・審査を受け、最終候補10作品が残った。最終審査では、デザインした学生が模型を使いながら、コンセプトや特徴を説明。その結果、最優秀賞1点、山大賞、菊池賞、章和賞各1点、佳作6点が選ばれた。

【総評】新しい感性やスキルを磨く大学生活を

最優秀賞の作品は、「住むことが楽しくなる」というコンセプトが明確に表現された点が高得点に結びついた。家族が集まる空間を中心に楽しく暮らすためのストーリーが実用的に描かれ、丁寧に作られた模型などで分かりやすく表されていた。その他、南面を大きく開放したプランや、中庭やセカンドリビングを配しながら、地域の自然環境と調和するプランがいくつか見られたが、最終的には設計図や模型の完成度の高さが決め手になったともいえる。全体的には、空間のスケールや構成についてはできていたが、やや独創性に欠けているように感じられた。「食べたことがない味だなあ、と思わせるプランが欲しかった」との意見があったように、もっと個性的な発想があってもよかった。発想力というのは、見る、聞く、触れるなど、普段の多様な体験を通して磨かれていくものであり、今後の学生生活の過ごし方に期待するものである。近年、「場所」に縛られない働き方や暮らし方が増えている。そこには「どう生きたいか」という価値観に直結した住宅が求められている。価値観はさまざまであるだけに、建築設計は想像以上に多彩な可能性を秘めているといえる。大学生活でのさまざまな出会いを通して、新しい感性やスキルを磨き、地域社会に貢献できる社会人へと成長していくことを願う。

About

山形大学 工学部建築・デザイン学科

工学基盤分野との融合による既存の技術にとらわれない都市・建築空間を創造する。



デザインから工学にわたる幅広い知識と技術を兼ね備え、地域の風土に根ざした建築設計・都市計画を追究、工学分野とも連携し学際領域で新たな価値を生み出す人材を養成します。総合学問である建築の特性を活かすため、工学からデザインまでの幅広い領域を包括した研究・教育を行います。数理系教育、製図法や模型製作、設計課題、絵画、彫刻など芸術分野を含んだデザイン系教育を実施。地方自治体や民間企業などとも連携し、建築設計やデザインした作品を地域の発展に活かす仕掛けを考える教育プログラムを展開しています。高等学校の文系コースから一級建築士になれる数少ない国立大学としても知られています。



山形大学工学部建築・デザイン学科 准教授 宗政由桐さん

2023 住宅設計デザインコンテストスケジュール

10月5日(木)	10月12日(木)	10月19日(木)	10月26日(木)	11月2日(木)	11月9日(木)	11月16日(木)
課題説明・資料収集	エスキス1 コンセプトイメージ (平面図・立面図・断面図)	エスキス2 ボリューム模型 (1/100)	中間講評	エスキス3 平面図・立面図・ 断面図・模型(1/50)	エスキス4 平面図・立面図・ 断面図・模型(1/50)	最終講評

01 HOUSING DESIGN CONTEST 2023

庭に出る家

プラン名

庭に出る家



※外観パースは図面を元にしたイメージです。

ROOM PLAN

4LDK +ガレージ+パントリー +シューズクローク

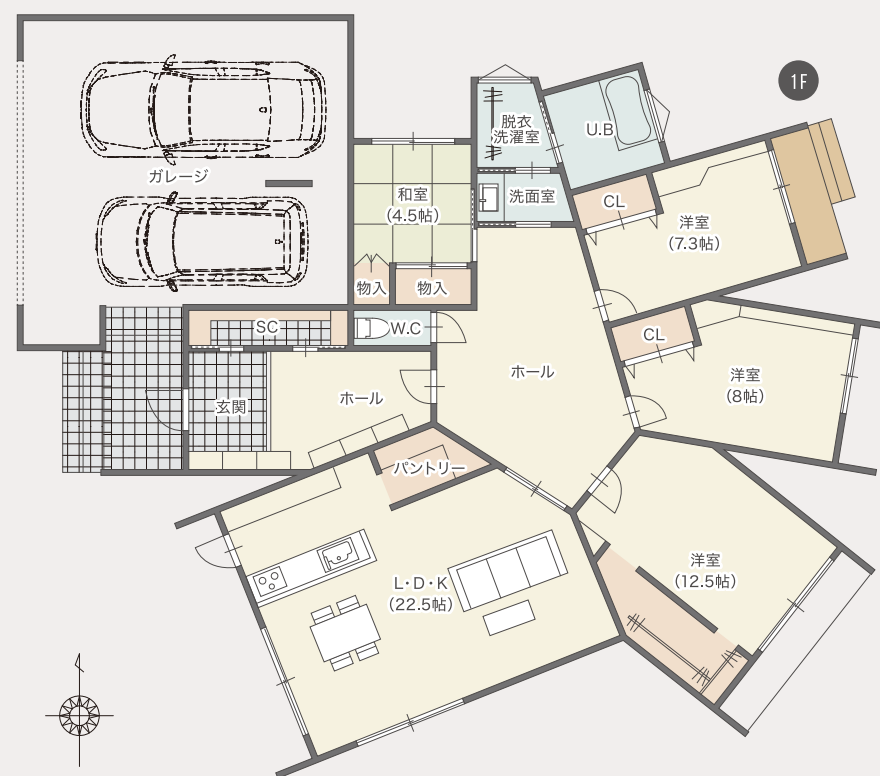
■延床面積 / 198.38㎡(60.01坪)
 ■1F床面積 / 198.38㎡(60.01坪)

Produced by

章和ホーム株式会社

各部屋の中心にホールを配置したことで家族同士の程よい距離感が生まれます。全ての部屋からアクセスできるプライベートな庭。その庭は各部屋や家族同士のつながりを生み、様々な楽しみを与えてくれます。プライベートな庭に様々な植栽を施すことでどの部屋からも四季折々の自然を身近に感じることができ豊かで贅沢な時間を生み出してくれます。

FLOOR PLAN



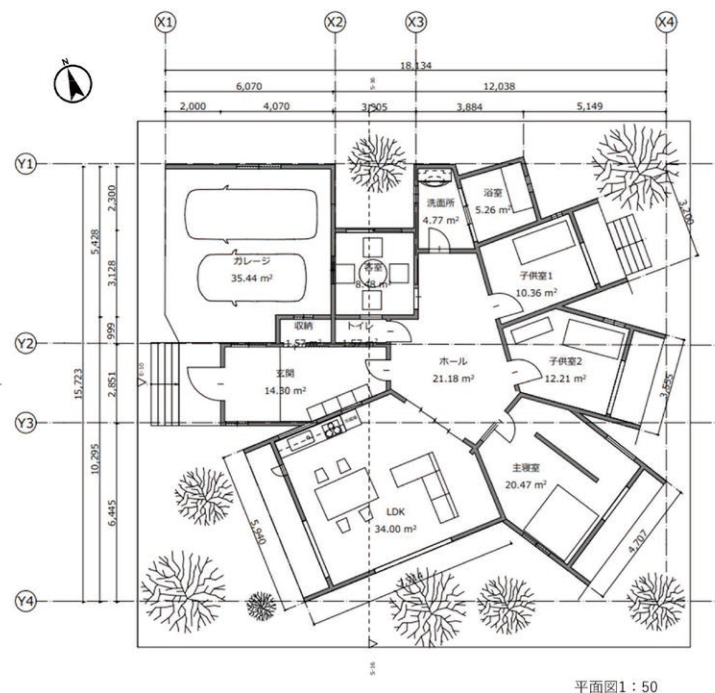
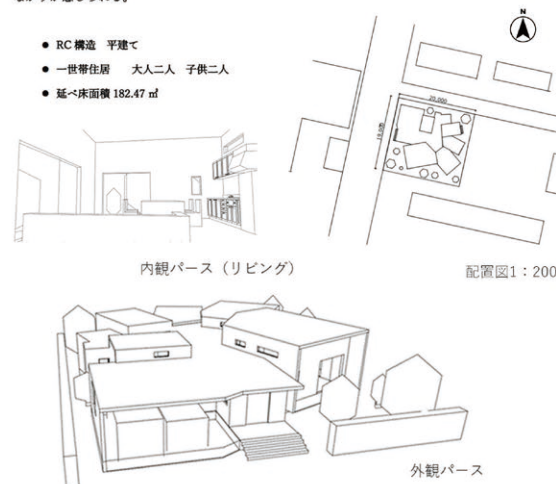
※内観写真はイメージです。

庭に出る家

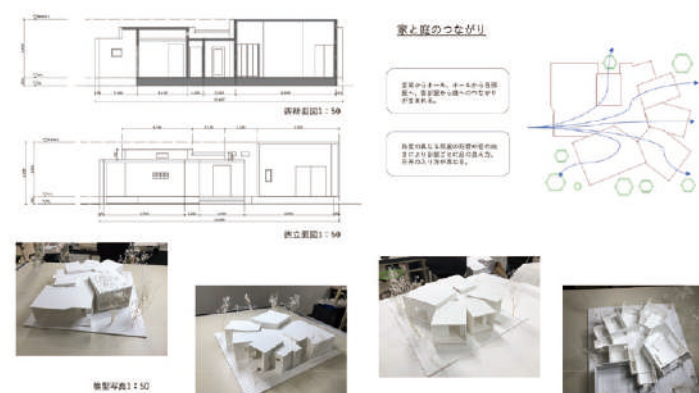
22515014 山崎 嵩悟

現代は感染症の流行や室内環境の充実により、大人から子供まで外出する機会が減ってきている。そこで、室内にいても庭を感じ、日光を浴び、外に出たくなるような住宅を提案する。玄関から入るとホールが広がり、そのホールから各部屋へつながる。各部屋には庭に向かって大きな窓が設けられ、庭の緑や外の明るさを感じられる。少しずつ角度を変えた部屋は庭の見え方、日の入り方が部屋ごとに異なる。床との段差をなくしたデッキは庭との緩やかなつながりが感じられる。

- RC 構造 平建て
- 一世帯住居 大人二人 子供二人
- 延べ床面積 182.47 ㎡



平面図1: 50



室内にいても庭を感じ、日光を浴び、外に出たくなるような家。

山崎 嵩悟さん (建築・デザイン学科2年)

現代は感染症の流行や室内環境の充実により、大人から子供まで外出する機会が減ってきています。そこで、室内にいても庭を感じ、日光を浴び、外に出たくなるような住宅をご提案。玄関から入るとホールが広がり、そのホールから各部屋へつながる。各部屋には庭に向かって大きな窓が設けられ、庭の緑や外の明るさを感じられる。少しずつ角度を変えた部屋は庭の見え方、日の入り方が部屋ごとに異なる様に設計。床との段差をなくしたデッキは庭との緩やかなつながりが感じられる家に。



02 HOUSING DESIGN CONTEST 2023

ずれる家

22515039 松田 渚

ずれる家

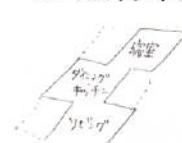
コンセプト
各部屋を水平・垂直にずらすことで、
ゆるやかにつながる家

二世帯住宅の世帯間、世帯内の距離感を
考え、分断する事なく二世帯が近すぎないような
住宅を目指した。そこで、世帯内では部屋を水平にずらす
ことで、世帯間では垂直にずらすことでゆるやかにつながる
ように計画した。

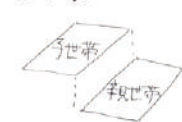
手順

1.各部屋の高さ・面積を決める
リビング=10畳×2.6m
ダイニング=8畳×3m
寝室=8畳×2.25m
その他=2.25m (面積は自在)

2.リビングや機能に
のり、水平にずらす。



3.世帯間の接続とその周辺では
広がりを感じられるよう垂直に
ずらす。

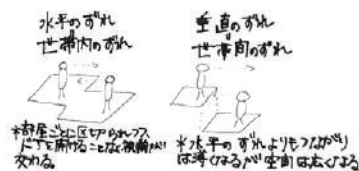


建ぺい率47%

延べ床面積: 185㎡

構造:鉄骨

家族構成:祖父祖母・父母子



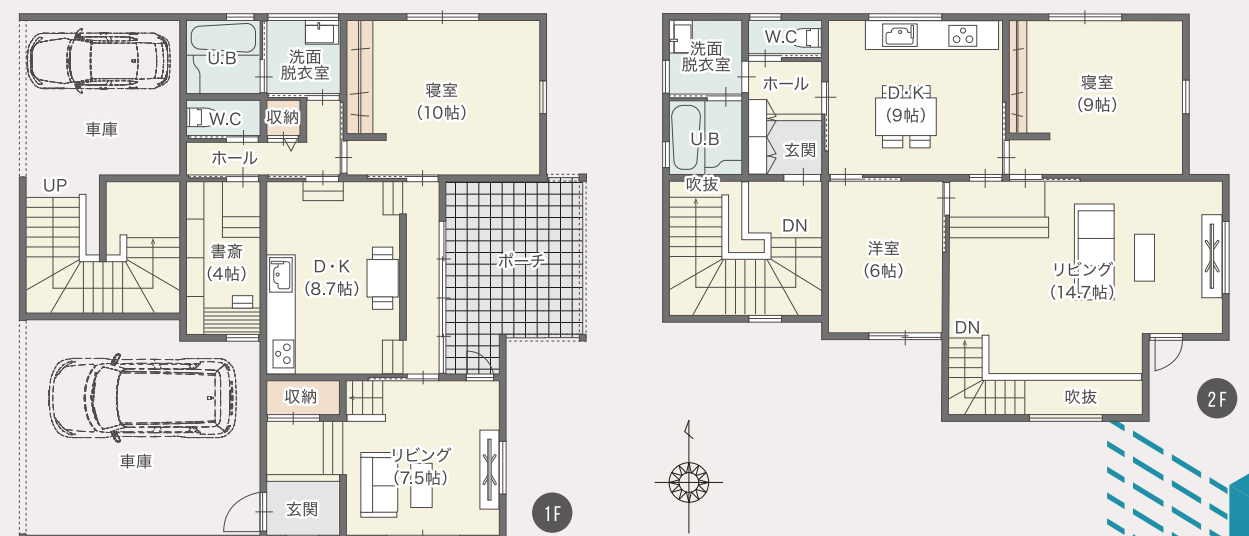
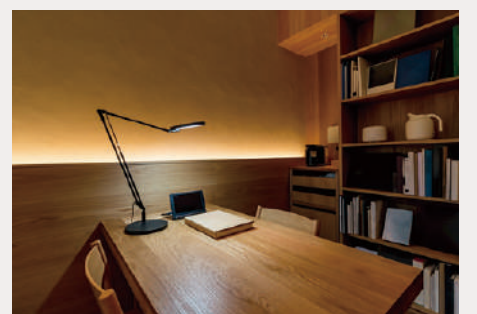
Produced by 株式会社 菊池技建

松田さんの設計は鉄骨構造でしたが、木造
で可能な設計にし、水平・垂直のズレに関し
ては目的として音対策として階高を確保し、
遮音対策を取り入れました。

また、各階には3段の階段で段差を設け、ゆる
やかにつながる家に設計しました。各世帯の
玄関は別々に設けリビングは同じ層でつなげ
た設計としました。



※内観写真はイメージです。



ROOM PLAN

1LDK+2LDK +ガレージ +書斎

■延床面積 / 177.01㎡(53.43坪)
■1F床面積 / 85.09㎡(25.68坪)
■2F床面積 / 91.92㎡(27.75坪)

各部屋を水平・垂直にずらすことでゆるやかにつながる家。

松田 渚さん (建築・デザイン学科2年)

二世帯住宅の世帯間、世帯内の距離感を考え、分断する事なく二世帯が近すぎないような住宅を目指しました。
そこで、世帯内では部屋を水平にずらすことで、世帯間では垂直にずらすことでゆるやかにつながるように計画しました。





山田谷 歩さん
(建築・デザイン学科2年)



ダイニングを中心に五つの直方体に分かれた生活スペースへと放射状に広がる家。
ダイニングを中心として五つの直方体に分かれた生活スペースへと放射状に広がる家。それぞれの空間から家族の存在を感じながらも、その凸凹とした形の中に緑が入り込んでくることで程よい距離感を保つ。角度を振った窓からは庭のいろいろな表情を見ることができます。



猿橋 徹也さん
(建築・デザイン学科2年)



閉鎖的で開放的
敷地調査を行うと、設計予定地のすぐ南方面に酒蔵があり、平日昼間にも関わらず、酒蔵は大勢の人で賑わっており、人の出入りや外で待っている人も多くいらっしゃいました。そんな中、現時点では何も無い本敷地の方をじっくり見つめる人々が複数おり、そこで、南の酒蔵方面からの視線を考慮し、「外から見れば閉鎖的だが、中から見ると開放的」な住宅を目指し、本設計課題のコンセプトとしました。



Produced by 株式会社 菊池技建

ROOM PLAN

3LDK +ガレージ+S.C+パントリー
+趣味室+スタディールーム

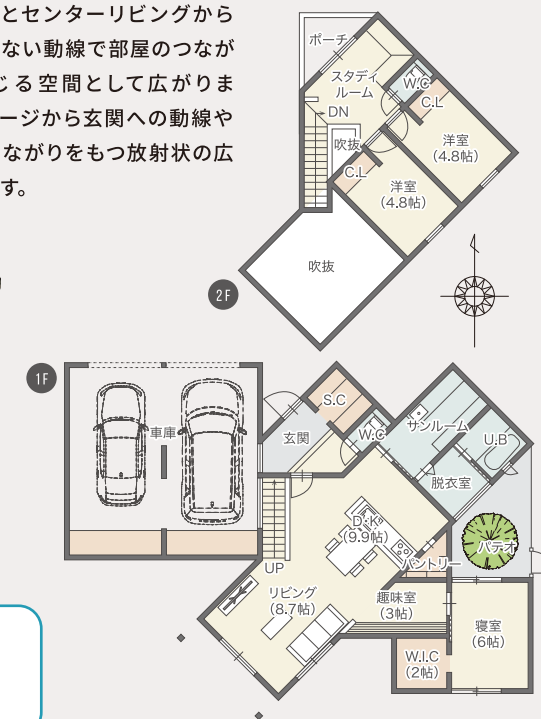
■延床面積 / 148.01㎡ (44.68坪)
■1F床面積 / 117.17㎡ (35.37坪)
■2F床面積 / 30.84㎡ (9.31坪)

星型のような多角形の平面図のインパクトとセンターリビングからの廊下のない動線で部屋のつながりを感じる空間として広がります。ガレージから玄関への動線や外とのつながりをもつ放射状の広がる家です。

参考モデルプラン

広がる、つながる

MODEL PLAN



Produced by 株式会社 章和ホーム

ROOM PLAN

4LDK +ガレージ+S.C
+パントリー

■延床面積 / 185.49㎡ (56.11坪)
■1F床面積 / 185.49㎡ (56.11坪)

ビルトインガレージからのスムーズな動線とコンパクトにまとめた水廻り。プライベートな時間を守ってくれるコの字型で中庭がある間取り。室内からダイレクトにアクセスできるウッドデッキは陽光あふれるアウトドアリビングとして解放された空間を実現し家族や友人と過ごす時間に花を添えてくれます。

参考モデルプラン

中庭から成るコの字の家

MODEL PLAN



■審査会／2023年11月16日（木） ■講評会・表彰式／2023年11月16日（木） ■審査員／●山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授：永井 康雄
 ●山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授：三辻 和弥 ●山形大学工学部 建築・デザイン学科 准教授：宗政 由桐 ●(株)菊池技建 専務取締役：菊池 信二
 ●章和ホーム(株) 代表取締役：川井 秀智 ■最優秀賞1点 ■山大賞1点 ■菊池賞1点 ■章和賞1点 ■佳作5点

建築設計には想像以上に大きな可能性がある。

山形大学工学部建築・デザイン学科 准教授 宗政 由桐

地域に住み続けることができる住宅の在り方を、新しい視点で考えてもらいました。例えば多世帯居住の比率が日本一という山形の特徴をふまえ、3世代同居住宅の可能性を追求したプランや2拠点住宅などですね。住宅設計は料理作りと同じで、おいしい料理はレシピをみれば作れますが、新食感の料理は様々な情報や味に触れて、「自分だったらこうしよう」と考え生み出されます。設計も同じで、多方面にアンテナを張りながら、様々な情報を収集して取り組むことが肝心です。建築は時代と共に変わりますので、特に重要ともいえます。建築士は弁護士などと違って、依頼者と共に明るく前を向いて進んでいける仕事です。また、一つの建築が時代を変えることもあります。高い志をもって学生生活を過ごしてください。



基礎の修得と創造力の養成に努めてください。

株式会社 菊池技建 専務取締役 菊池 信二

コンセプトに則って、「楽しく快適に暮らす」ためのストーリーができていないか、それを明確に伝えることができるか、プレゼン力や模型などの完成度の高さですね。それらを選考基準にしました。最優秀賞の作品は、これらの要素をバランスよくこなしていました。中でも「伝える」という表現力の高さが印象的でした。最近、コンピューターに頼りすぎて、単にパーツを組み合わせ、見映えを良くしただけの作品が見られます。私の経験から言えば、手描きの方が面白いアイデアがいろいろ生まれると思います。今後は、大学で基礎知識を蓄え、論理的な思考を担う左脳を鍛え、それを表現をつかさどる右脳に転化し、新しい発想を生み出すことができる創造力の豊かな社会人になることを願っています。



人間力を高め「ものづくり」に挑戦してください。

章和ホーム 株式会社 代表取締役 川井 秀智

設計の基本ができていないか、作品にストーリー性と斬新さがあるか、それがしっかり表現できているか、この4つの視点で審査しました。「地方（雪国）に住む」という観点で採光やカーポートに工夫を凝らすなど、新鮮味のあるアイデアが何点ありました。ただ、全体的にはあまりに独創性に欠ける気がします。今後は法律の改正や規制の強化などで建築設計も厳しさが増してくると思います。それらをクリアしながら知恵を絞り、競争に打ち勝っていくには、より柔軟な発想が必要になります。設計はものづくりです。住む人の人生を豊かにするものをつくる使命があります。感性の豊かさ、人へのやさしさなど心の有り様も問われてきます。様々な経験を積み、人間力を高めることに努めてください。



会社紹介

COMPANY INTRODUCTION



みんなが笑顔になる、よい「いえづくり」。

新築住宅はもちろん、住宅リフォームや修繕工事、アパートマンションなどの集合住宅も。お施主様の理想にしっかり寄り添い「よいいえ」を共につくります。そして「住んでから」が本当のお付き合い。家は家族の安らぎの場所であり、家族が増えたり成長したり、長い時を超えて暮らしの中心となるところです。だからこそ、家を建てる事だけを目標とはせず、家族にとって「本当によいいえとは何か」を考えその先の人生にも寄り添い続ける家づくりにこだわります。



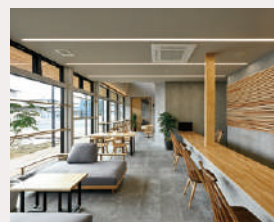
Website

山形市あかねヶ丘1-11-24
TEL:023-643-7558
<https://kikuchigiken.co.jp>



小さいころ憧れた「夢ある家」。

小さいころ憧れた「夢ある家」。そんなお住まいづくりが私達のかかわぬ想いです。将来の暮らし方、生活設計に配慮し、ものづくりに対し真剣に向き合いお客様のライフスタイルに合わせた質の高い空間を実現するため、1棟1棟丁寧にサポート、ご提案致します。弊社はお客様の視点に徹し地元密着を心掛け、人と人との繋がりを大切に地域NO.1を目指して業務に取り組んでおります。



Website

南陽市三間通38-1
☎ 0120-400-133
<https://www.showa-inc.jp>



HONORABLE MENTION

住宅設計デザインコンテスト2023 受賞作品 佳作作品

05 HOUSING DESIGN CONTEST 2023

吹き抜けでつながる3世代。

阿部 実菜子さん（建築・デザイン学科2年）

それぞれの「楽しい」
ひと時を共有できる空間。

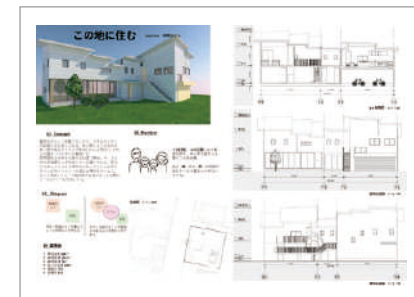


06 HOUSING DESIGN CONTEST 2023

この地に住む

押野 さくらさん（建築・デザイン学科2年）

住宅にカフェを取り入れ
ヒトが溜まる場所を作り出す。

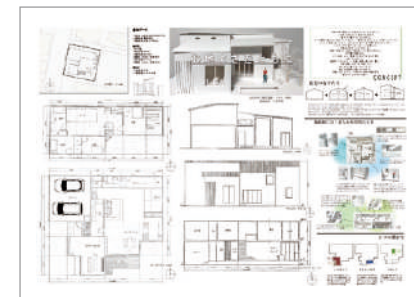


07 HOUSING DESIGN CONTEST 2023

心地よさをともに

水谷 真知さん（建築・デザイン学科2年）

家族一人ひとりが、その時々で
自分の居場所を選択できる住宅。



08 HOUSING DESIGN CONTEST 2023

外とつながる家

一戸 偲央さん（建築・デザイン学科2年）

3棟の建物を3方向に
配置することで生まれる採光と景色。

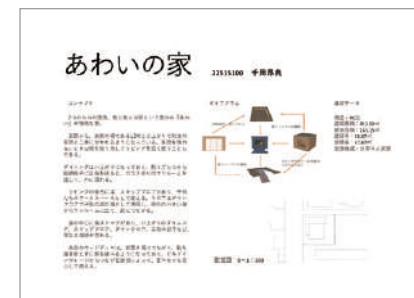


09 HOUSING DESIGN CONTEST 2023

あわいの家

千田 昂典さん（建築・デザイン学科2年）

2つのものの関係、物と物との間という
意味の「あわい」が特徴な家。

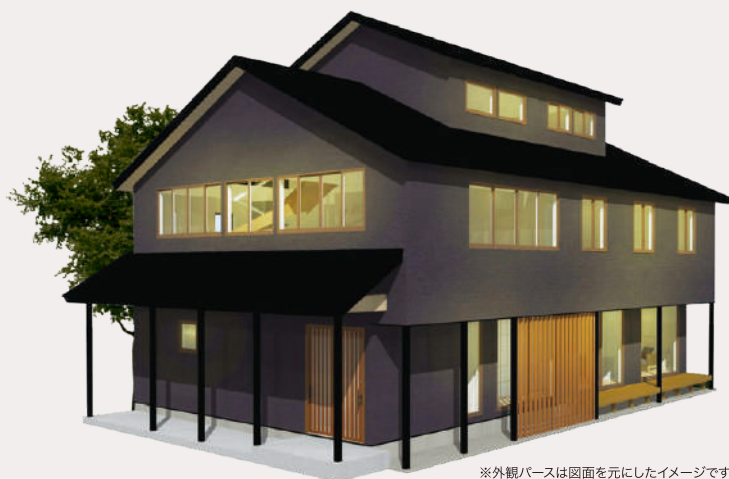


「佳作」のプランを工務店がアレンジ

Produced by 章和ホーム株式会社

参考モデルプラン 吹き抜けでつながる3世代。

1階の和室から3階のLDKまで続く吹き抜けがそれぞれの世代をつなぎ、全ての階が一つになるような空間。共有スペースの他にプライベート空間を設けることによって各世代に合わせたライフスタイルを構築することができます。

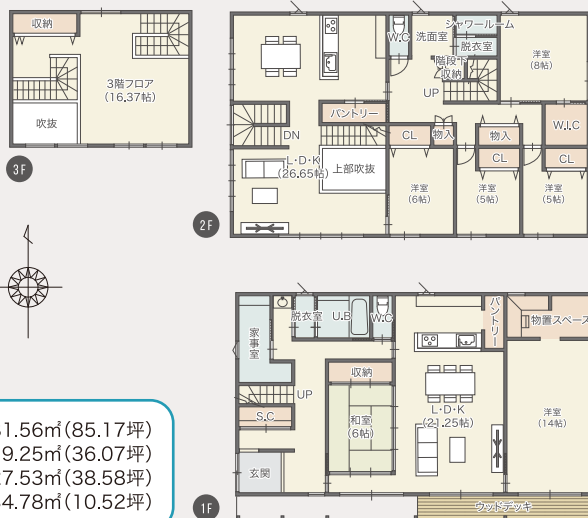


※外観パースは図面を元にしたイメージです。

ROOM PLAN

2LDK+4LDK +S.C+パントリー×2
+家事室+W.I.C
+3階フロア

- 延床面積 / 281.56㎡(85.17坪)
- 1F床面積 / 119.25㎡(36.07坪)
- 2F床面積 / 127.53㎡(38.58坪)
- 3F床面積 / 34.78㎡(10.52坪)

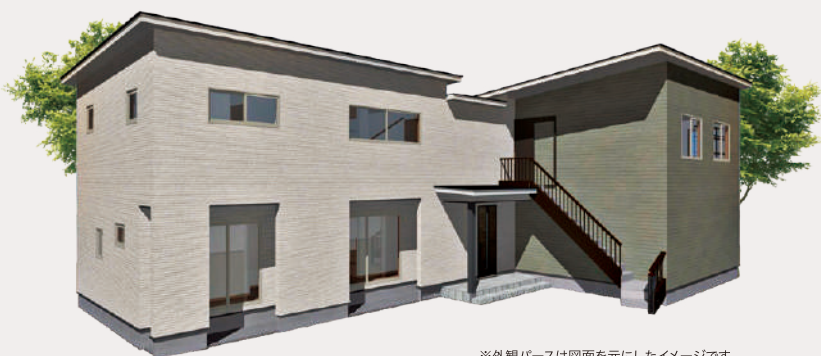


「佳作」のプランを工務店がアレンジ

Produced by 株式会社 菊池技建

参考モデルプラン この地に住む

できるだけ多くの部屋に光をとり入れたいという希望から1階は収納をメインにして、中2階の高さにリビングを配置して光をとり入れつつ、外部との視線があわないように設計してみました。



※外観パースは図面を元にしたイメージです。

ROOM PLAN

2LDK +ガレージ+ユーティリティ
+土間物入+スタディコーナー
+中間収納+店舗

- 延床面積 / 219.03㎡(66.12坪)
- 1F床面積 / 106.41㎡(32.12坪)
- 2F床面積 / 112.62㎡(34.00坪)



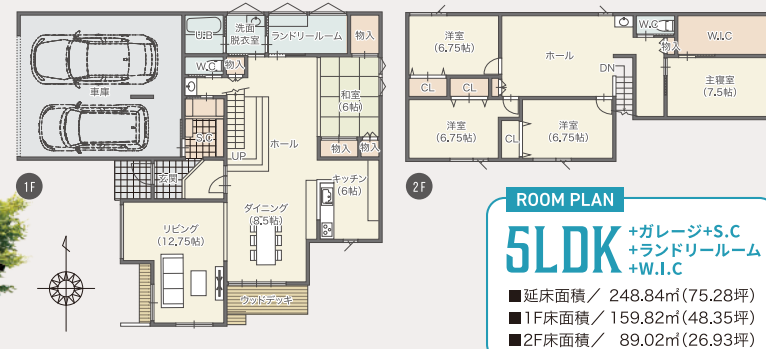
「佳作」のプランを工務店がアレンジ

Produced by 章和ホーム株式会社

参考モデルプラン 心地よさをともに



※外観パースは図面を元にしたイメージです。



ROOM PLAN

5LDK +ガレージ+S.C
+ランドリールーム
+W.I.C

- 延床面積 / 248.84㎡(75.28坪)
- 1F床面積 / 159.82㎡(48.35坪)
- 2F床面積 / 89.02㎡(26.93坪)

階段スペースを兼ねた勾配天井のホールを中心に回遊できる間取り。階段の下端部分は広々としたスペースに仕上げベンチとして腰かけながら読書や団らの場として活用できます。家の中のどこにいても、家族の気配を感じられる居心地の良さを与えてくれます。

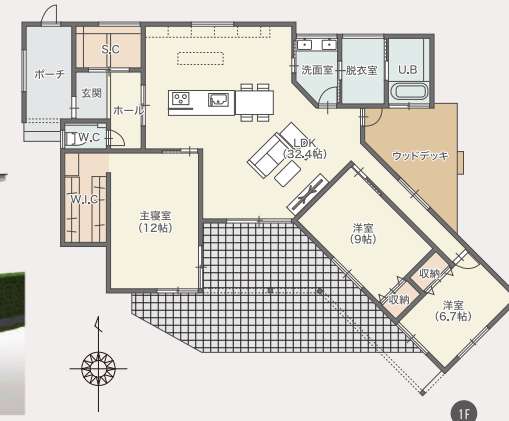
「佳作」のプランを工務店がアレンジ

Produced by 株式会社 菊池技建

参考モデルプラン 外とつながる家



※外観パースは図面を元にしたイメージです。



ROOM PLAN

3LDK +S.C+W.I.C

- 延床面積 / 138.14㎡(41.70坪)
- 1F床面積 / 138.14㎡(41.70坪)

設計者のコンセプトと設計配置を活かし、実用的な設計に変えてみました。西日は強いのでなるべく避け、デッキには各居室から出入りできるようにしました。また、リビングから屋根のかかってあるデッキ空間があるので、多少の雨でも楽しめる空間となっています。また、東面にはウッドデッキを設けくつろげる設計にしています。

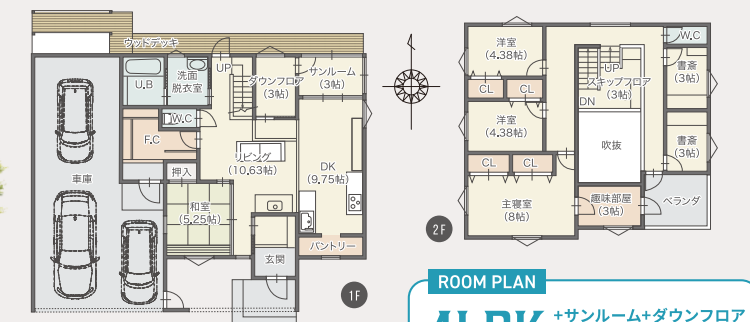
「佳作」のプランを工務店がアレンジ

Produced by 章和ホーム株式会社

参考モデルプラン あわいの家



※外観パースは図面を元にしたイメージです。



ROOM PLAN

4LDK +サンルーム+ダウンフロア
+F.C+パントリー
+趣味部屋+書斎×2

- 延床面積 / 210.75㎡(63.75坪)
- 1F床面積 / 137.05㎡(41.46坪)
- 2F床面積 / 73.70㎡(22.29坪)

家族間の会話が行き交う空間。フロアの高低差を利用し部屋どうしの境をなくすことでお互いの視線が交わり、リビングルームの中心にある吹き抜けが、家族同士が程よく気配を感じることができ安心感が得られる家です。

HOUSING DESIGN CONTEST

COLLABORATION PLAN

OTHER

住宅設計デザインコンテスト
その他応募作品

